

様式第 2 号（第 8 条関係）

審議会等会議録

会議の名称	加須市立大桑小学校・大桑幼稚園 第 1 回学校評議員会議
開催日時	令和 5 年 6 月 23 日（金） 10：00～（所要 1 時間 30 分）
開催場所	加須市立大桑小学校 校長室
議長氏名	
出席委員	秋葉 功 、 加納 静子 、 杉田 貴洋 、 岡田 由佳理
欠席委員	なし
会議次第	1 委嘱状交付 2 今年度の学校・幼稚園経営について 3 教室参観 4 情報交換
会議資料の名称	第 1 回学校・幼稚園評議員会議
会議の公開又は 非公開の別	公開
非公開の理由	
傍聴者の数	0 人
説明者の職・氏名	校長・園長 隈元 俊介
事務局職員の 職・氏名	教頭 萩原 健司 副園長 飯田 宏美 主幹教諭 新井 宏美
会議録の作成方法	☒ 要点記録 ☐ 全文記録
その他必要な事項	

様式第 3 号（第 8 条関係）

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
教頭	1 開会のことば ただいまより、第 1 回大桑小学校・大桑幼稚園評議員会議を始めます。司会を担当します、大桑小学校教頭、萩原でございます。どうぞよろしくお願いいたします。 この評議員会議は市の規定に基づきまして公開ということになっております。つきましては、学校のホームページでも開催について周知をさせていただきました。この会議につきましても記録を取らせていただき、会議録という形で市に報告をし、ホームページにも公開をさせていただくことになりますのでご了承いただきたく存じます。なお、個人情報に関わる案件につきましては 一部非公開とさせていただきますのでよろしくお願いいたします。
校長	2 あいさつ 公私ともにお忙しい中、評議員をお受けいただきました。本当にありがとうございます。先ほど、教頭からお話がありましたが、この令和 5 年度は全員が新しい 1 年目の評議員ということで、新たなスタートを切ったなというふうに感じております。昨年度まではそれぞれの地区の区長さんが評議員に入られていたのですが、10 年とか 5 年とか本当に長く務めていただいております。今年度はいろいろな方のご意見を学校運営・学校経営に生かしていきたいということで、新たにスタートを切ったところでございます。学校評議員というのは、学校教育校 施行規則第 49 条で決まっているものです。また、加須市学校管理規則の 19 条の 2 に定められております。主な内容としましては 校長の求めに応じて学校や幼稚園の教育目標や計画、教育活動の実施、学校と地域の連携の進め方などについて意見をいただくということになっております。今年度は年 3 回を予定しております。地域の声を学校教育に生かせないかという視点で、地域との架け橋・パイプ役としてざくばらんにご意見をいただきたいと思います。1 年間どうぞよろしくお願いいたします。
校長	3 委嘱状交付 (校長より評議員一人一人に委嘱状を交付)

4 今年度の学校・幼稚園経営について

小学校が目指す学校像としましては「児童一人一人のよさをみんなが認め、みんなが輝ける学校」というものにいたしました。今は、多様化の時代です。本当に子供もいろんな個性があります。そういうものを画一化するのではなくて、それぞれの子の「よさ」というものを伸ばしてあげられる学校にしたいなと思っております。勉強が得意な子もいれば苦手な子もいます。運動が得意な子がいれば苦手な子もいるし、歌が上手な子もいます。そのような一人一人の「よさ」というものを教職員全体、学校全体で見つけてあげて伸ばしてあげればいいかなという風に思っています。これは教員だけではなく、子供たちの集団の中でも、それぞれのお子さんの「よさ」をみんなが認められる集団にしたいなと思っています。自分と合わないから無視したり、仲間外れにしたり、それがいじめにつながったり、不登校になったりということになるのではなく、これから子供たちが中学・高校・大学・社会人になった時にいろんな人たちと関わりを持っていかなきゃいけない中で、基盤となるのは集団生活だと思いますので、自分と馬が合う人、馬が合わない人だけではない、人間関係を作れるような学校にしていきたいと思っています。みんなが輝けるというのは先ほど言いましたが、自分の得意なもの、やっぱり自分がこれは自慢できる、これは頑張れるというものを、一人一人が十分に発揮できる学校にしていきたいと思っています。これは子供たちだけではなく、大桑小学校の教職員たちにも当てはまります。今は、本当に若い教職員が多いです。平均 30 代前半です。もう 20 代 30 代の先生が 7 割です。やはり若い教職員は経験が浅く、確かに未熟なところもありますが、それらの教職員も輝ける学校にしたいなという風に考えてこの目指す学校像を掲げました。

目指す児童像は、「夢を語り、自信と誇りをもって未来を切り開ける児童」です。その下に、大きく 3 つに分かれています。学校教育目標「思いやりのある子」を育てるためにその下の四角の「心豊かな人間関係づくり」の方策になっています。同じように「進んで学ぶ子」を立てるために「確かな学力の向上」、「元気でたくましい子」を育てるために「健やかな心身の育成」となっています。あいさつに関しては「おはようございます」と言えるけれども、外に出ると元気な挨拶ができるという部分に課題が見られる部分と捉えています。また、「心豊かな人間関係づくり」の中に「東部 5 校 共通行動」とありますが、

中学校区をもとに 5 校でリンクミーティングをやっています。5 校というのは 具体的には「加須平成中学校」「加須東中学校」「水深小学校」「花崎北小学校」でこういう子供たちを育てようとか、こういうところに力を入れようということを確認し、共通目標を設定しています。「自分から 目を見て 笑顔で 心を込めて」あいさつができるようにしましょう、時計を見て時間になったら行動できる子供たちを育てましょう、という目標です。後は無言清掃として、清掃の時間に「もくもく てきぱき すみずみ」与えられた 掃除場所をしっかりとできる子にしましょうということで これは今 5 校共通で行っていることとございます。ICT 活用の更なる推進ということでは、学習用端末をほとんどの授業で使っています。やはり、子供たちは興味を持って、自分で探求心を持って課題解決ができることにつながっています。教員の方もスキルアップを目指して、学校の学力向上につなげていきたいと思っています。最後の「健やかな心身の育成」ことでは、皆さんご存知の通り先月から新型コロナも 5 類に移行されたということで、また新たな取り組みを学校がしていかなきゃいけないのかなという風に感じております。ただ、コロナがなくなったわけではありませので、状況とかを注視しながら、学校の行事や教育活動も考えていく必要があります。ただ元に戻すのではなくて、この 3 年間で学んだこと、例えばタブレットを使ってこういう風なことができる、だったら元に戻さずそれを活かしたものをやればいいということで考えていく必要があります。子供たちの健康状態を注意しながら、新たな行事の作成とか、新たな取り組みを取り入れていきたいと感じております

幼稚園のグランドデザインに関しては、小学校と趣が違います。幼稚園では、とにかく遊びを通していろんなことを学んでいきます。この 3 年間コロナ禍でちょっと停滞をしてしまった部分があります。いろんな体験をすることもやはり制限がかかっていましたし、人とのつながりもそうです。今年度は経営方針を「いきいき ふれあい 大桑幼稚園」ということで活動がしたい時に取り組める教育環境づくりを大切にしていきます。コロナ禍では、「あれはやってはいけない」「これはやってはいけない」「こういう風な活動はいけない」というものが常に子供たちのやりたい気持ちの前にストップがかかってしまった部分がありました。今年度はとにかく子供たちが「あれやりたい これやってみたい」その声を 1 つでも 2 つでも組み上げて、子供たち主体にできる活動・遊びを取り入れていきたいと考えております。あとは

	家庭・地域、これもやはりコロナ禍でなかなか活動ができなかったです。秋葉さんにはおじいちゃん先生としていろいろお世話になっています。子供たちもなかなか幼稚園の中では学べないし、得られない体験なので、地域の方の協力とか、保護者の活動をどんどん入れて、または子供たちをどんどん見ていただいて、子供たちの成長を共に支えただけであればありがたいと考えております。 幼稚園においては、「遊びの質」について深く研究を行っています。今年は豊かな学びを生み出すためにはどんな環境設定をしていったらいいのかというところを職員が研究しながら保育を行っております。また、市内の研究発表の年になっています。11月24日に市内の先生方を招いて発表をする予定です。 4 教室参観 (幼稚園→小学校 の順で参観) 5 情報交換
秋葉委員	以前は「昔の遊び」をスタッフが10人くらい来て寒い時期に体育館でやっていましたが、高齢者に感染してはいけないということでできなくなってしまいました。私ももう7,8年やっていますが、地域の方もいなくなってしまったりしている状況もあります。学校も、もう3年止まってしまうと、なかなか前の行事に戻すのも難しいと思います。子供たちのために、何かできればいいとは思っています。
加納委員	年長さんが落ち着いていて、誰も立ち歩きもなく、先生の言うことをよく聞いて活動していたのでびっくりしました。よその市町村で勤めをしていたので、近所に住んでいながら、関わりがあまりなかったので、民生委員をうけることになってやっと地域に目を向けられるようになりました。発達障害とか、幼稚園と一年生のギャップなど、小学生も先生も大変だろうなとは思っています。入学して少ししか経っていないのに、ノート、算数セット、タブレットなど、大変だろうなと思いますが、落ち着いて学習していてすごいなと思いました。 朝、散歩しているようにしています。以前、泣いている子がいたので、一緒に歩いていったりしたこともあります。途中で気持ち悪くなって帰る子もいました。そういう関わりができるようになってうれしいです。コロナ禍になって、外で過ごす子が減ったのを感じます。外

	で遊んでいる子を見かけなくなりました。今は中学生も小学生も夏休みも暑いもあり、外に出なくなったのかもしれませんが。これからは、地域に目を向けて、学校だよりも配布されているので、学校にも目をむけられるようにしたいです。去年は運動会もみせてもらって、すごくいい運動会だったと感動しました。
杉田委員	経営方針、こどもの成長とつながっているのを感じました。旗当番をよくしますが、あまり声を出してくれないです。手をふってはくれますが、あいさつがかえってこない。こちらがもっと声をだして、子供が声をだしやすい雰囲気をつくっていきたいと思います。大人がまず手本を見せることが必要だと思います。 教室を見せていただき、気になったところは、教室の雰囲気、マスク、マスクを外している子が多いのを感じました。コロナ禍前にもどっている子が多かったです。これから熱中症の時期もあるので、マスクを外しているといいと思います。先生方が率先して外しているので、子供も外しやすくなっているのではと思います。学校に行きにくい子も、地域の方が声をかけてもらえるので、助かっています。たくさんの方が協力していただけるのがありがたいです。地域の方に見てもらえるのが、親としてありがたいと感じています。 外で遊んでいると、近所の方が助けてくれて、学校で学ぶことに加えて、地域のつながりを大切にしていきたいと思っています。
岡田委員	1年生をみて、幼稚園と比べて、小学校に入ると変わると気づけて、先生はすごいなと思いました。上の子が最初の方は行きたくないということがありましたが、今は普通に行けるようになりました。地域の方や、先生はすごいなと思いました。
加納委員	デジタル化について、紙のものと、パソコンになって、不具合とはなかったのですか。
校長	低学年は、特に書くことも必要だと思っています。今回の学力検査も、回答はタブレットですが、頭の中だけで文章を組み立てるのは難しいので、紙も配って使えるようにしました。タブレットも紙、えんぴつと同じように、道具として活用できるようにしたいと思っています。

教頭	6 閉会の言葉 今まで3年間コロナ禍ということで、なかなか地域との関わり・つながりというのを学校としても持ちづらい状況というのがあった現状でした。皆様からもお話をいただく中で、やはり地域の力・地域の人たちが子供たちに関わっていくというのは子供の成長にとっても大きいものだということを私自身も改めて実感をさせていただいたところです。今年はアフターコロナということで、全て元に戻すことはなかなか難しいとは思いますが、地域の力をしっかりと学校の方にも取り入れながら、学校運営も進めてまいりたいと思いますので何かお気づきの点や地域の声が入ってきましたら、お伝えをいただけるととても助かりますのでよろしくお願いいたします。 以上で、第1回大桑小学校・大桑幼稚園 評議員会議を閉会とさせていただきます 次回は11月の27日を予定しています。よろしくお願いいたします。
会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。 令和5年6月23日 署名 教頭 萩原 健司	

(注) 特に署名を要しない審議会等については、事務局名を記入してください。